



マイナンバーカードの 健康保険証(マイナ保険証)をご利用ください!

令和6年12月
2日より健康保険

証の新規発行が終了し、マイナンバーカードを健康保険証として利用する仕組みに移行されます。当院は総合受付及び救急外来受付にマイナ保険証を利用するための「顔認証付きカードリーダー」が設置されていますので、是非ご利用下さい。

マイナンバーカードの健康保険証利用には
次のメリットがあります。



メリット1

受付時にお薬の履歴や過去の特定健診の情報等の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。



メリット2

マイナンバーカードを保険証として利用する際に、申請に必要な情報を提供することに同意すれば、限度額適用認定証がなくても限度額を超える支払いが免除されます。

三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針・その他の方針 (令和6年7月1日改定)

基本理念

- 救命救急、高度医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として、医療の安全と質を高め、次代を担う優れた医療人材の育成に貢献します。
- 県内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

その他の方針

受診される皆様の権利

- 人として尊重された最善の医療を受ける権利があります。
- 医療行為についての情報提供と説明を受ける権利があります。
- 患者の皆様の理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 診療情報の保護により、プライバシーを尊重される権利があります。

受診される子どもの権利

- あなたは、どのようなときでも一人の人間として大切にされ、よりよい医療を受けることができます。
- あなたは、病気や治療のことについて分かりやすく説明してもらったうえで、あなたの考えや気持ちを家族や病院の人に伝えることができます。
- あなたは、他の人に知られたくないことがあれば、病院の人に伝えることで秘密にすることができます。
- あなたの学んだり遊んだりしたいという気持ちや、おうちの人と一緒にいたいという気持ちは、どのようなときでも大切にされます。

守っていただく事項

- 心身の健康状態などの必要事項については、正確で詳細な情報をお伝えください。
- 医療行為は、理解と合意のうえで受けてください。
- お互いに、礼儀正しく社会的ルールをお守りください。
- 医療費の支払い請求を受けたときは、速やかにお支払いください。

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和6年11月/発行号
所在地/〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450-132
電話/059-345-2321 (代表) FAX/059-347-3500 メール/sogohos@mie-gmc.jp
<https://www.mie-gmc.jp/>

ホームページ



交通のご案内



地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
Mie Prefectural General Medical Center



地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
Mie Prefectural General Medical Center

Vol.
99
2024
Autumn

医療センター



ニュース

特集 診療部・部門訪問/中央手術部

年間3,000件超の手術を支える
麻酔科医と手術室看護師

ニュース&トピックス





特集 診療部・部門訪問 / 中央手術部

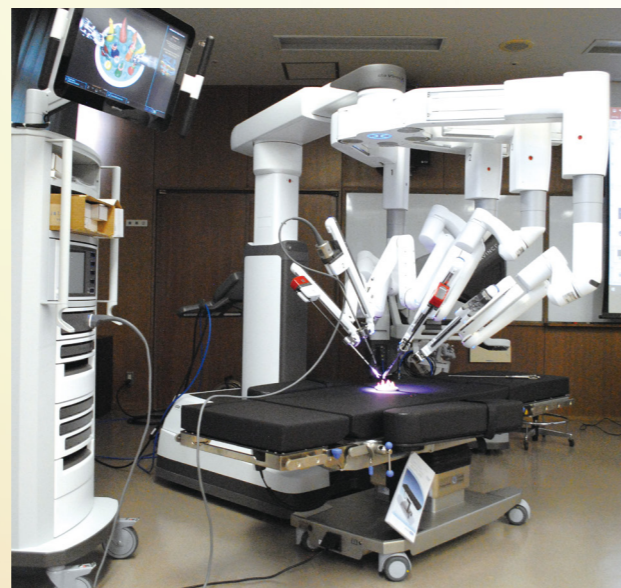
年間3,000件超の手術を支える 麻酔科医と手術室看護師

三重県立総合医療センターでは、2023年の1年間に3,292件の手術が行われました。手術を受けるとなれば、だれでも不安に感じます。そんな不安を少しでも軽減できるよう、今号では周術期（術前・術中・術後）の医療・看護を担う麻酔科医と手術室看護師（オペナース）について紹介いたします。

増加傾向にある手術件数に対応

手術室とは文字どおり、手術を行うための設備を備えた部屋のことです。基本的にはどの診療科の症例でも手術ができるよう環境を整えており、特別な環境で実施しなければならない手術に対しては、専用設備のある手術室で対応しています。

当院の手術件数は毎年200件近く増加しており、年々件数が増えている手術に対応するため、手術室を2室増設しました。現在10室体制で稼働して



手術支援ロボット（ダヴィンチ）。
2019年5月、三重大学病院に次いで県下で2施設目に導入した

おり、消化器一般外科・乳腺外科・心臓血管外科・呼吸器外科・脳神経外科・小児外科・産婦人科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻いんこう科・脳神経内科の手術を実施しています。昨年最も手術件数が多かったのは整形外科の1,039件で、全体の約3分の1を占めています。

特長ある手術室として「バイオクリーンルーム」と「陰圧手術室」があります。「バイオクリーンルーム」は特殊な空調によって微粒子や細菌を飛散させない、清浄度の高い手術室で、主に高齢化に伴い、増えている手術のひとつである整形外科の人工関節置換術などで使われます。人工関節の手術では細菌感染に充分注意する必要があるためです。「陰圧手術室」は新型コロナウイルス感染症などの感染者に対して手術ができるよう、室内の気圧を外部より低く設定できる手術室です。圧力差によって空気の流れを抑えることで、汚染された空気を手術室外に広げることなく手術が可能になります。空気感染力が高い結核（※）などの患者さんにも利用します。

そのほか、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を設置した手術室、脳神経外科用顕微鏡を備えた手術室などもあります。近年は、患者さんの体への負担が軽減でき、術後の回復も早い、手術支援ロ



古橋一壽さん
副院長兼診療部長
長兼中央手術部長
兼臨床研修センター
長兼麻酔科部長

麻酔方法の種類

手術の内容に応じて、
下記4種類の麻酔方法を単独または組み合わせて行います。

2023年の診療実績（全手術症例数：3,292件）

麻酔科管理症例数：2,347件

内訳／全身麻酔：1,332件、全身麻酔+硬膜外麻酔：747件、
硬膜外・脊髄くも膜下麻酔・硬脊麻：266件、緊急手術：362件

◎全身麻酔

意識がなく、完全に眠った状態にして動かないようにする麻酔で、注射薬とガス麻酔薬があります。手術中も必要に応じて薬を継続して投与しますので、途中で目覚めることはありません。患者さんにとっては「目が覚めたら手術が終わっていた」という状態になります。

◎硬膜外麻酔

背中から、脊髄をとりかこむ硬膜の外側（硬膜外腔）に細い管（カテーテル）を入れて、麻酔薬を注入する方法。胸部から下半身の手術のときに行われ、狙った範囲の痛みを取ることができます。カテーテルを留置し、手術後も痛み止めを続けることが可能です。

◎脊髄くも膜下麻酔（脊髄麻酔、腰椎麻酔）

下腹部（特に帝王切開）や足の手術のとき行う下半身麻酔です。手術台で横向きになって、腰から針を刺して、背骨のなかのくも膜下腔へ麻酔薬を注入します。薬が入ると、足やお尻が温かくなりピリピリしてきます。次第に麻酔効果が上がっていき、足が動きにくくなり、腹部より下は痛みを感じなくなります。

◎局所麻酔

手術する小範囲の痛みを取る麻酔です。

ボットを用いた手術も増加。精度の高い手術が可能で、泌尿器科をはじめ4診療科が実施しています。

※2023年の新登録結核患者数10,096人／厚生労働省

患者さんの安全を守るエキスパート

多くの手術では、病気や外傷などの患部を治療する目的で体にメスを入れます。たとえ短時間の手術であっても痛みなどの刺激を伴うことがあるため、「手術は怖い」というイメージをもつ人は少なくありません。

そんな手術による痛みや恐怖、不安から患者さんを守るのが麻酔科医です。テレビ等で医療を題材にした番組が放送される際、手術室で麻酔科医が患者さんへ声をかけながら麻酔を導入するシーンがよく見られます。麻酔科医の役割は薬剤を使って眠らせることだけと思われがちですが、手術中の患者さんの状態を適切に維持・管理することも重

要な役割のひとつです。

全身麻酔を行う際は手術が安全に行えるように筋弛緩薬を使用することがあります。患者さんの体が急に動いてしまうのを防いだり、体の緊張やこわばりを緩めることで手術を円滑に進めたりするためです。筋弛緩薬が投与されると、自分の力で呼吸することができなくなりますので、呼吸用のチューブを口から入れて人工呼吸器につなぎ、呼吸を補助します。患者さんの体に十分な酸素を送り込む環境を整えるのも麻酔科医の役目で、これを「呼吸管理」といいます。

その他にも、手術中に患者さんの血圧や心拍数、体温などに異常が見られたときに処置を行い、安定した状態を保つ「循環管理」や、手術中・手術後の痛みをコントロールする「疼痛管理」なども行います。手術中、執刀医や手術室看護師が、それぞれの仕事に集中できるよう、患者さんの全身管理をするのが麻酔科医の役割であり、患者さんの立場からいえば、安全に手術が終えられるよう、見守ってくれるエキスパートでもあるのです。

「麻酔科医にとっては、麻酔中の患者さんの状態に細心の注意を払い、手術を無事に終了させるのは当たり前のことです。手術を安全に、そして安心して行うために、麻酔は大前提だと考えます。抗凝固剤(血液を固まりにくくする薬剤)を飲んでいる患者さんなどは、硬膜外麻酔をすると合併症の危険が高まります。事前に患者さんの情報を踏まえ、それぞれの患者さんに最適な麻酔方法を選ぶよう、努めています」と麻酔科部長の古橋一壽さんは話します。



伊藤大輔さん
手術看護認定看護師
・日本DMAT隊員



多岐にわたる麻酔科医の役割。
手術中は、薬剤を投与するほか患者の状態維持・管理を担う

チームで安全な手術治療を提供

手術は1時間以内に終了する短いものもあれば、10時間を超えるものもあります。手術時間にかかわらず、どんな手術も複数の専門職が連携しています。具体的には、手術をする医師(執刀医)、麻酔や手術中の患者さんの状態を管理する麻酔科医、医師の介助や患者さんの状態の観察などを行う看護師、手術室で使用する医療機器の設定・操作を担当する臨床工学技士で、レントゲンを使う場合には放射線技師も加わります。

当院の中央手術部は、各診療科における外科的手術を行う部門で、麻酔科医9名、看護師33名(うち手術看護認定看護師1名)、臨床工学技士1

名が在籍しています。病棟で働く看護師を「病棟看護師」、外来で勤務する看護師を「外来看護師」と呼ぶように、手術室の業務をメインにしている看護師を「手術室看護師(オペナース)」と呼びます。

手術室看護師の役割には、手術の流れ(術式)を頭に入れ、執刀医が必要とする器械を正確に手渡す「器械出し看護師」と、手術の円滑な進行を総合的にサポートする「外回り看護師」があります。

特に外回り看護師は業務の幅が広く、手術前の患者さんや家族への説明、手術室の準備、手術中の看護記録、麻酔科医の介助、手術後の病棟看護師への引き継ぎなど、周術期(術前・術中・術後)全般にかかわるとともに、手術を受ける患者さんの不安を取り除くことも大切な仕事となっています。

当院の手術室に在籍している伊藤大輔さんは、日本看護協会に認定された手術看護認定看護師であり、手術看護のスペシャリストです。「手術室看護師という手術に必要な道具を事前に準備したり、手術中

に執刀する医師に手術器械を渡したりする『器械出し』のイメージが強いですが、事前に患者さんを訪問して手術に必要な情報を集めたり、長時間に及ぶ手術で褥瘡が発生しないよう体位変換や姿勢保持をしたり、術中の患者さんに関する情報を病棟看護師に伝えたりと、手術前から手術後までの一連の流れのなかで患者さんを看護するのが役目です。そして安心して手術を受けていただけるよう、安全で円滑な手術が提供できるよう、手術に携わる多職種と連携して、チーム医療で臨んでいます」と手術に際して心がけていることを話してくれました。



手術室看護師の皆さん

麻酔(全身麻酔)の流れ



◎手術前

麻酔科医および看護師が患者さんを訪れて、手術の説明や体調の確認、不安なことなどを尋ねます。安全な麻酔を行うためには患者さんの全身状態を知る必要があります。麻酔科医は術前訪問やカルテの情報から、もっとも適した麻酔方法を検討して選んでいます。



◎手術中

手術室では心電図や血圧計、血液の酸素飽和度を測定するパルスオキシメーターなど、患者さんの状態を確認するモニターを装着後、麻酔薬を導入します。麻酔科医は手術中もモニターで患者さんの状態を確認しつつ、必要な輸液、輸血、投薬を行い、安全に手術が終了できるようにします。



◎手術後

麻酔薬の投与を中止すると、患者さんは自然に目が覚めます。血圧や呼吸、痛みなどが落ち着いていることを確認します。患者さんが痛みを感じる場合は、さらに痛み止めを使用することもあります。手術室には病棟から病棟看護師がベッドで迎えに来ます。手術室看護師は病棟看護師へ申し送りをし、患者さんは病棟看護師が付き添って病棟へ帰ります。

●さまざまな催しもので魅了 小児科秋まつり

令和6年9月3日(火)に当院入院患者さんを対象とした秋まつりを開催しました。当日は、「幅広い世代が楽しめる曲のアンサンブル」や「バルーンアート」、「プラネタリウム」、「縁日の出し物」などで会場全体が大いに盛り上がりました。



●四日市市南消防署も参加した 院内消防訓練を実施

令和6年9月18日(水)に実施した院内消防訓練では、地震に伴う火災を想定した通報訓練、避難訓練、消火訓練を行い、手順を確認しました。四日市市南消防署の方にも参加していただき、公設消防隊による講評などが行われました。



●約30人の地域住民が参加 生活習慣病教室

令和6年9月19日(木)に当院7階講堂にて生活習慣病教室を開催しました。約30人の地域住民の方にご参加いただきました。当院では原則奇数月の第三木曜日に生活習慣病教室行なっております。事前申し込み・参加費は不要ですのでお気軽にご参加ください。



9月19日(木)の開催プログラム

- ①「フレイルについて」講師：総合内科部長 森谷 勲
- ②「身体的フレイルについて」講師：理学療法士 内田 智之
- ③「介護保険について」講師：社会福祉士 鷹野 航太

休診情報

11月1日現在

完全休診

耳鼻いんこう科 | 12/27(金)

三重県立総合医療センター 検索

<https://www.mie-gmc.jp/>

都合により変更させていただく場合がありますので、最新の情報はウェブサイト・電話・メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和6年11月1日(金)現在

診療科	曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科初診	1診	大須賀	1診	岡本	1診	西田
総合内科	2診	感染症内科 白木	2診	血液内科 和田	2診	白木
消化器内科	3診	森谷	3診	井上	3診	山中/水谷
	4診	井上	4診	森谷	4診(午前)	小林
消化器内科・循環器内科	5診	—	5診	水谷	5診	腎臓内科 村田
循環器内科初診	6診	増田	6診	加藤	6診	増田
消化器内科・循環器内科	7診	加藤	7診	中澤	7診	谷垣内
ペースメーカー外来	—	—	—	—	—	—

※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。
※総合内科初診木曜日の1診は、水谷が第1週・第3週・第5週を担当し、小林が第2週・第4週を担当します。
※消化器内科木曜日の4診の官は泌尿器科2診での診察となります。
※消化器内科金曜日の3診は、中澤が第1週・第3週・第5週を担当し、小林が第2週・第4週を担当します。

呼吸器センター	初診	1診	藤原	1診	吉田	1診	後藤	1診	三木	1診	児玉*
	再診	—	—	—	—	2診	増田	—	—	—	—
	再診	3診	後藤	3診	三木	3診	児玉	3診	吉田	3診	藤原

※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時~11時(完全予約制)

消化器・一般外科	1診	横江	1診(午前)	担当医	1診	尾嶋	1診	毛利	1診(午前)	担当医
	2診	尾嶋	—	—	2診	山本	2診(午前)	森本	—	—
	3診(午前)	毛利	—	—	3診(午前)	横江	—	—	—	—
小児外科	—	—	2診	内田	—	—	2診(14:00~)	内田	—	—
乳腺外科	—	—	1診(午後)	小島	—	—	—	—	2診	野呂
	3診(午後)	乳腺外来	3診	山下	3診(15:00~)	乳腺外来	3診(午前)	山下	3診(午前)	乳腺外来
形成外科	—	—	—	—	第1週(9:00~11:30) 第2週(8:30~11:30)	橋本	—	—	—	—
心臓血管外科/呼吸器外科	1診	近藤	1診	新保	1診	井上	—	—	1診	澤田
	2診	庄村	2診	鈴木	2診	田邊(第2~5週)	—	—	—	—
脳神経外科	1診	和田	1診	黒田	1診	寺島	予約診	担当医	1診	佐野
	2診	亀井	午前予約制	脳血管外来* (佐野)	—	—	—	—	2診	亀井
	—	—	—	—	—	—	—	—	午後予約制	脊椎脊髄外来

※第2週・第4週 火曜日9時~11時(完全予約制)

脳神経内科	1診	伊藤	1診	伊藤	1診	掃部/伊藤	1診	大久保/岡本	1診	掃部
	2診	大久保	2診	掃部	2診	西垣	2診	岡本/大久保	2診	伊藤

※水曜日の1診は掃部が第1週・第3週・第5週を担当し、伊藤が第2週・第4週を担当します。
※木曜日の1診は大久保が第1週・第3週・第5週を担当し、岡本が第2週・第4週を担当します。
※木曜日の2診は岡本が第1週・第3週・第5週を担当し、大久保が第2週・第4週を担当します。

小児科	1診	杉山	1診	西森	予約診	太田	1診	太田	1診	杉山
	2診	西森	2診	太田	予約診	杉山	2診	西森	2診	杉山
産婦人科	3診	太田	3診	萩野	予約診	大森/山口	3診	中村	3診	林
	予約診	山口	—	—	時間外/紹介	西森	—	—	予約診	山口
	1診	大里(初診)	1診	杉本(初診)	1診	小村(初診)	1診	竹内(初診)	1診	河村(初診)
	2診	杉本	2診	朝倉	2診	河村	2診(午前)	朝倉	2診	平野
整形外科	3診(午前)	南(1・3・4・5週)/ 平野(2週)	3診	小村	3診	竹内	3診	たんぼほ (助産師)外来	3診	朝倉
	3診(午後)	母体胎児診断 (1・3・4・5週)/平野(2週)	—	—	—	—	—	—	—	—
	4診	たんぼほ (助産師)外来	—	—	—	—	—	リンパ浮腫ケア外来 (完全予約制) (1・2・4週)	—	—
整形外科	1診(午前)	北尾(膝関節外来、紹介)	1診(午前)	北尾(再診)	—	—	1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介、初診)
	1診(午後)	—	1診(午後)	—	—	—	1診(午後)	奥山(再診)	1診(午後)	—
	2診(午前)	柿本(紹介、初診、診)	2診(午前)	服部佳(紹介、初診)	—	—	2診(午前)	服部佳(紹介、初診、診)	2診(午前)	岡本(紹介、初診)
	2診(午後)	—	2診(午後)	柿本(再診)	—	—	2診(午後)	服部佳(再診)	2診(午後)	岡本(再診)(第2・4週)
	3診(午前)	服部佳(リハ、再診)	3診(午前)	柿本(リハ、再診)	—	—	3診(午前)	服部佳(リハ、再診)	—	—
	3診(午後)	—	3診(午後)	岡本(再診)	—	—	3診(午後)	服部佳(再診)	—	—

※金曜日の紹介予約は奥山が毎週担当します。
※金曜日の初診は奥山が第1・第3・第5週を担当し、岡本が第2・第4週を担当します。

皮膚科	1診	須賀	1診	加古	1診	加古	1診	杉岡	1診	加古
	—	—	午後	褥瘡回診	午後	手術	—	—	—	—
泌尿器科	1診	神田	—	—	1診	辻	1診	松浦	1診	伊藤
	予約診	松浦	—	—	予約診	神田	—	—	予約診	辻
	予約診	辻	—	—	予約診	伊藤	—	—	予約診	松浦
眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(午後休診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗
耳鼻いんこう科	1診	鈴村(紹介、初診のみ)	1診	鈴村	1診	鈴村	1診	鈴村	1診	鈴村
精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下
放射線科	1診	南平	1診	南平/野本	1診	南平/高田	1診	南平/佐貫	1診	南平